

# 衆院特別委採決弾劾！



# 7/15国会を2万5千人が包囲！

## 国会前での動労千葉・田中委員長アピール

今日安倍政権が強行した衆院特別委員会での強行採決、本当に心から許せません。こんなことは僕らの力で粉砕しましょう。

なぜならこれが戦争への道だからです。戦争だけは絶対に止めなきゃいけない。これは共通の思いです。この国会の中に戦争を企んでいる奴らがいるんだよ。

だけど今日ここから本当の歴史が動き出すんだと思います。今まで日本の労働者はおとなしいと思われてきました。確かに労働組合の幹部たちは屈しています。だけど今日安倍政権は自らの墓穴を掘った。今まで我慢ができない怒りを抱きながら、それを出すことができなかった、団結をする仲間がいなかった、そういう膨大な、数十万数百万の怒りの声が拳になって、スクラムになって立ち上がる最後の引きがねを彼らは今日引いたんですよ。

だから今日からはじまるのは、戦争への道じゃないんです。新しい歴史が今日からはじまるんです。

だけどそれは、だれか別の人間がやってくれるんじゃないんです。私たちが今日この場で、まなじりを決して決意を固めよう。



この国がもう一度戦争に進む、そんなことは自らの力で止めてやる。闘う決意をこの場で固める。そうすれば、必ず無数の怒りと結びつく。私はそうそう信じて疑いません。

まずは今日はじめ、彼らが狙っている60日ルール、こんな形で成立させようという2か月間を闘いぬき、怒りの声をもっと大きくしましょう。

もうひとつ。戦争が本当の意味で現実のものとなるのは、かつて労働組合が自ら解散して産業報国会となって、労働組合が戦争



# 全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

03-3651-4861 mail\_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

に協力した時でした。

だから今日から私たちは、全国の職場に分け入ります。もう一度、労働組合が戦争に協力するのか。私たちは、ひとりひとり無力に思っているかもしれないけど、ひとりひとりの労働者が無限の可能性を持っているんだよ。団結したら社会を動かせるんですよ。歴史をつくるのは僕らなんだ。

だって見てくれ。この社会の全ては僕らが生産し動かしている。そういうことを訴えて職場に分け入りたいと思っています。

小さい炎でいいから、無数に炎をつくる。そして今の腐りはた労働組合のあり方を現場の力で覆して、それをひっくり返す。

実際、安倍政権はもう始めています。あの連合ですらもう役に立たないんだとあって、UAゼンセンという労働組合の委員長と秘密会談を行いました。恐ろしいことですが、この労働組合は、政府に育成されて、何と方針に「憲法9条2項を廃止して、防衛力保持を明記せよ」と掲げました。そして、「主権国家である以上、徴兵制を実施すべき」と掲げた労働組合です。それが何と日本最大の労働組合です。それを呼んで、取り込もうとしている。

私たちは、今日実はこの場に、ゼネストで闘う韓国から3名の仲間を迎えています。この3名の仲間たちは、旭硝子の韓国法人の下請けで首を切られた仲間たちです。労働組合をつくったとたんに、この下請け会社丸ごと請負契約を破棄されて全員解雇です。つまりこれが戦争に向かうときに起こることなんです。組合作ってわずか1か月。何の経験もない。だけど国境を越えて日本に闘いにきました。きょう午前中、旭硝子本社に抗議闘争に行ってきました。解雇撤回まで闘いを展開します。今日この場に来到ることに本当に大きな意味があると思います。だって安倍政権は国会で何と言ったんですか。この安保法案は、朝鮮半島有事のための法律なんだって答弁をしたんです。またもう一回、韓国の民衆に銃を向けろっていうんですか。中国の民衆に銃を向けろっていうんですか。違う。僕らは今日、ゼネストに立ち上がっている



韓



国の労働者と固くスクラムを組んで団結をして、この国の政府を倒そう。敵は韓国の労働者や中国の労働者じゃないんです。敵は戦争を企む政府なんです。

もう一点述べます。私たちは国鉄闘争を闘ってきました。実は30年間闘ってきた民営化の解雇問題で、上告を棄却するという決定が6月30日に出されました。二つの意味があります。

一つは、この時代に闘いを継続するなんてのはどんな闘いだろうと許さないんだという強い意志です。こんなものは粉碎します。

もう一つは、だけど最高裁はこの上告棄却をもって、あの28年前、国鉄分割・民営化の時にやられたことが全て国家的不当労働行為であったということを認定せざるを得ませんでした。分割・民営化以降、労働者を襲ったことは、この国の政治を憲法改悪に向けて、戦争に向けて走らせてきたこと。その出発点がここにあったんです。これが間違っていたってことなんです。

だったら決着をつけるのは私たちの力です。今日私たちは新しい決意をして闘いに立ち上がります。もう引くことはできません。僕らに見えているのは新しい明るい未来だけなんです。前に向かって進みましょう。

## 全学連への決戦カンパのお願い

- 全学連は安保国会粉碎へ、キャンパス・街頭で全力で闘いぬく決意です。決戦を闘うカンパを、ぜひよろしくお願ひします!

【振込先】(郵便振替)00190-0-766112

「全日本学生自治会総連合」

